

山梨県砂利組合連合会主催 『労働災害防止研修会』

ACTIVE KUMIAI

山梨県砂利組合連合会



会長挨拶

去る6月26日(土)、県内の4つの協同組合(山梨県砂利協同組合、身延砂利協同組合、早川砂利協同組合、富士川中流砂利協同組合)で組織する「山梨県砂利組合連合会」(井上聰一郎会長)は、構成組合員約60名の参加の下、同連合会が事務所

を構える甲府市宝一丁目の山梨県農業共済会館内の研修室において、『労働災害防止研修会』を開催した。

研修会に先立ち、あいさつの中で井上会長は、スロークンである「死亡災害の絶滅、重・軽傷災害の半減および労働保険料100%完納」を提唱し、労働災害の撲滅にあたっての協力を呼びかけた。

同研修会では、労働安全コンサルタントの功刀能文氏を講師に迎え、県内外の労働災害の現状や労働災害防止対策についての講演が行われた。

功刀氏は、最近の事故事例をイラストにまとめわかりやすい説明によって紹介し、日ごろの作業習慣からの気のゆるみが災害を引き起こす最大の要因だと説き、毎日の作業に対する安全意識の喚起を呼びかけた。

同研修会は、県内の砂利採取業者らの労働災害に対する強い関心から、独自の研修会開催をという強い要望により、毎年連合会主催で行っている。

参加した組合員は、「この研修会の意義を再認識するとともに、労働災害の防止への取り組みに対して、常日頃からの意識を高めていきたい。」と語っていた。



研修会風景